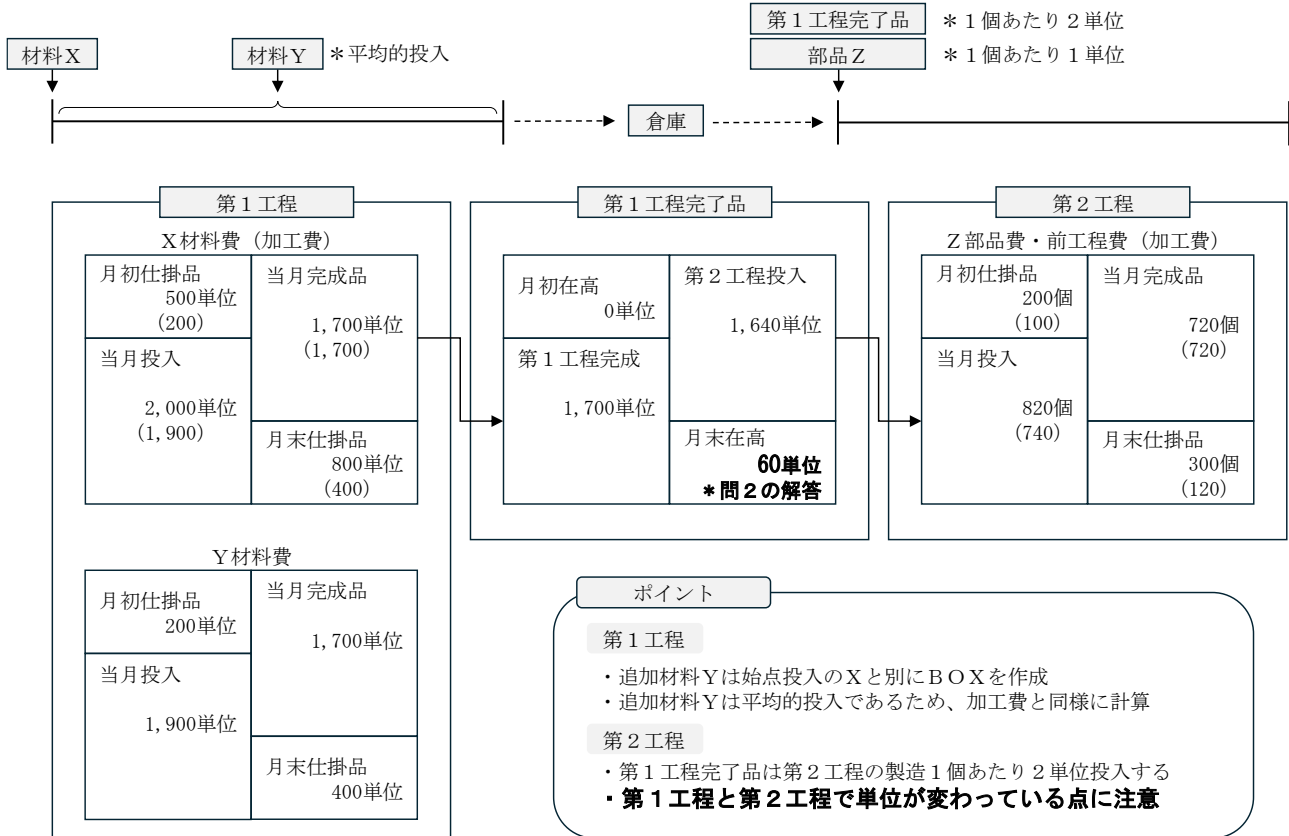


第215回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1 工程別標準原価計算

1. タイムテーブルおよびボックス図の作成



2. 原価標準 * 問1の解答

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">第1工程完了品</th> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">X材料費 1,000円/kg × 5 kg/単位 = 5,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">Y材料費 1,200円/kg × 3 kg/単位 = 3,600円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">加工費 3,000円/時間 × 5時間/単位 = 15,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 2px;">合計 23,600円</td> <td></td> </tr> </table>	第1工程完了品		X材料費 1,000円/kg × 5 kg/単位 = 5,000円		Y材料費 1,200円/kg × 3 kg/単位 = 3,600円		加工費 3,000円/時間 × 5時間/単位 = 15,000円		合計 23,600円		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">第2工程完了品</th> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">Z部品費 6,300円/kg × 1単位/個 = 6,300円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">前工程費 23,600円/kg × 2単位/個 = 47,200円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">加工費 2,800円/時間 × 5時間/個 = 14,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 2px;">合計 67,500円</td> <td></td> </tr> </table>	第2工程完了品		Z部品費 6,300円/kg × 1単位/個 = 6,300円		前工程費 23,600円/kg × 2 単位/個 = 47,200円		加工費 2,800円/時間 × 5時間/個 = 14,000円		合計 67,500円	
第1工程完了品																					
X材料費 1,000円/kg × 5 kg/単位 = 5,000円																					
Y材料費 1,200円/kg × 3 kg/単位 = 3,600円																					
加工費 3,000円/時間 × 5時間/単位 = 15,000円																					
合計 23,600円																					
第2工程完了品																					
Z部品費 6,300円/kg × 1単位/個 = 6,300円																					
前工程費 23,600円/kg × 2 単位/個 = 47,200円																					
加工費 2,800円/時間 × 5時間/個 = 14,000円																					
合計 67,500円																					

第2工程完了品1個当たり第1工程完了品2単位使用するため、上記のようになる。

3. 標準原価の計算 *問3の解答

ボックス図に当てはめて計算すると、以下のようになる。

第1工程			
X材料費(加工費)			
2,500,000円 (3,000,000)	月初仕掛品 500単位 (200)	当月完成品 1,700単位 (1,700)	8,500,000円 (25,500,000)
	当月投入		
10,000,000円 (28,500,000)	2,000単位 (1,900)	月末仕掛品 800単位 (400)	4,000,000円 (6,000,000)
Y材料費			
720,000円	月初仕掛品 200単位	当月完成品 1,700単位	6,120,000円
	当月投入		
6,840,000円	1,900単位	月末仕掛品 400単位	1,440,000円

第2工程			
Z部品費・前工程費(加工費)			
10,700,000円 (1,400,000)	月初仕掛品 200個 (100)	当月完成品 720個 (720)	38,520,000円 (10,080,000)
	当月投入		
43,870,000円 (10,360,000)	820個 (740)	月末仕掛品 300個 (120)	16,050,000円 (1,680,000)

4. 原価差異の分析

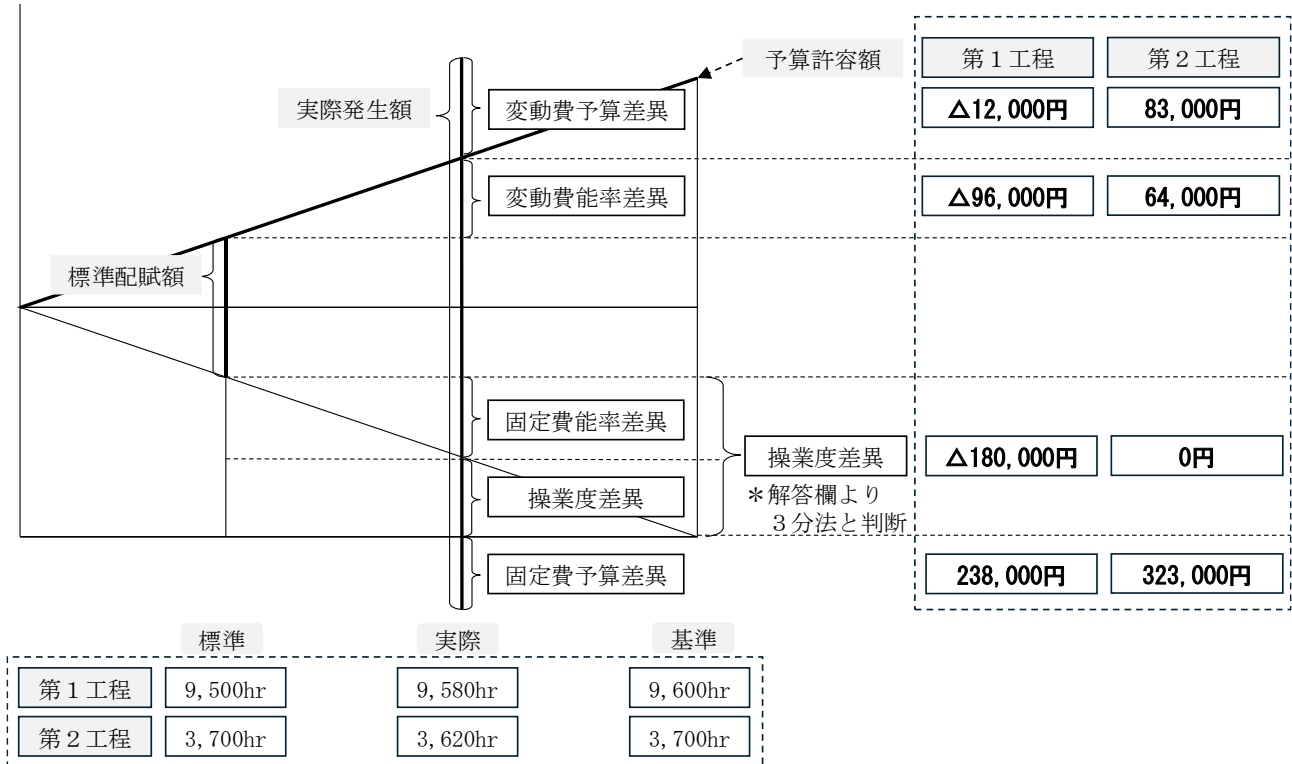
(1) 材料費の差異分析 *問4の解答

X材料費	
価格差異 △784,000円	実際 @1,080
数量差異 200,000円	標準 @1,000
標準 10,000kg	実際 9,800kg

Y材料費	
価格差異 175,800円	実際 @1,170
数量差異 △192,000円	標準 @1,200
標準 5,700kg	実際 5,860kg

Z部品費	
価格差異 △16,420円	実際 @6,320
数量差異 △6,300円	標準 @6,300
標準 820個	実際 821個

(2) 加工費の差異分析 *問5の解答

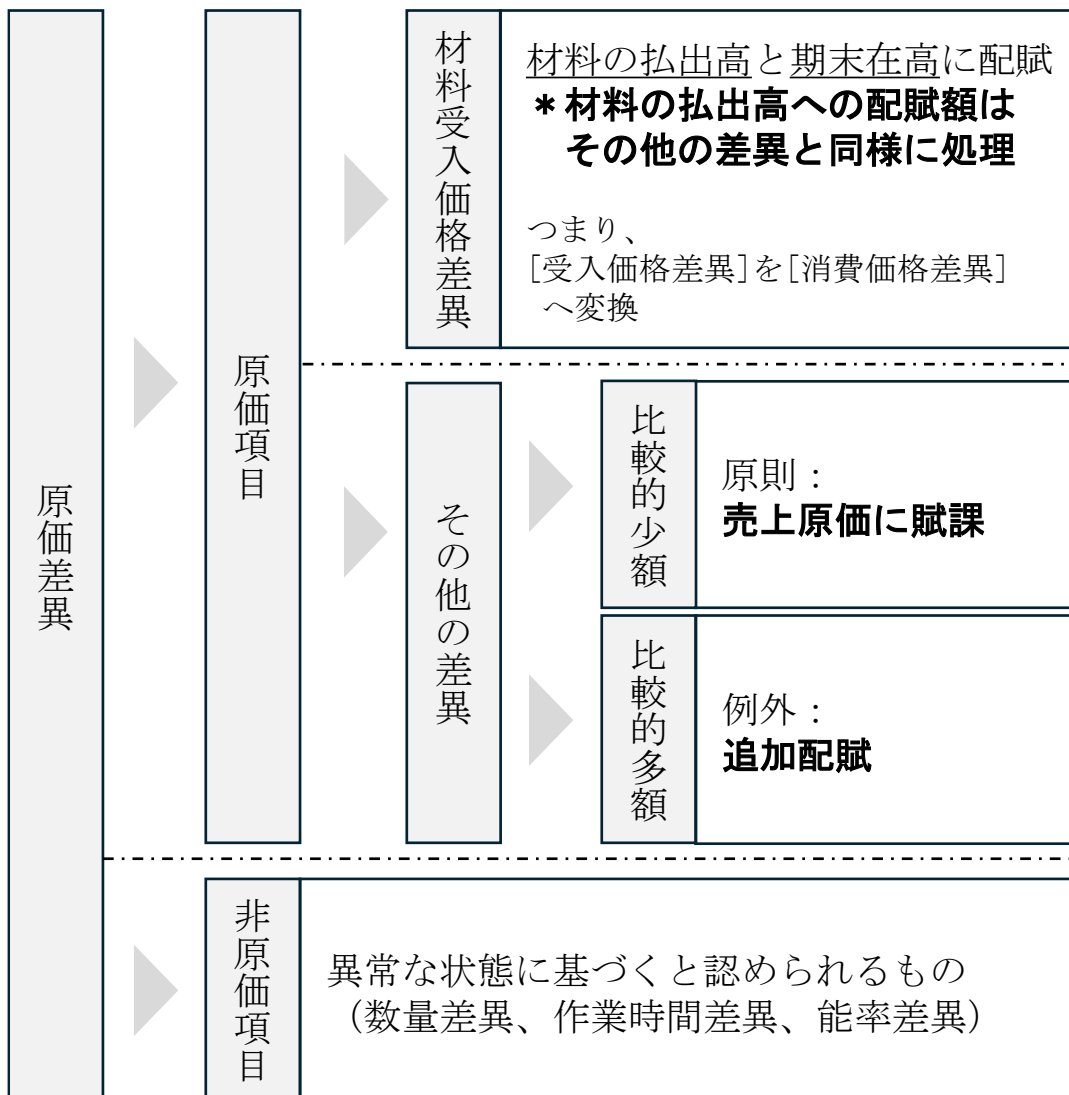


5. 標準原価差異の会計処理 *問6の解答

原価計算基準 第5章 47項より抜粋

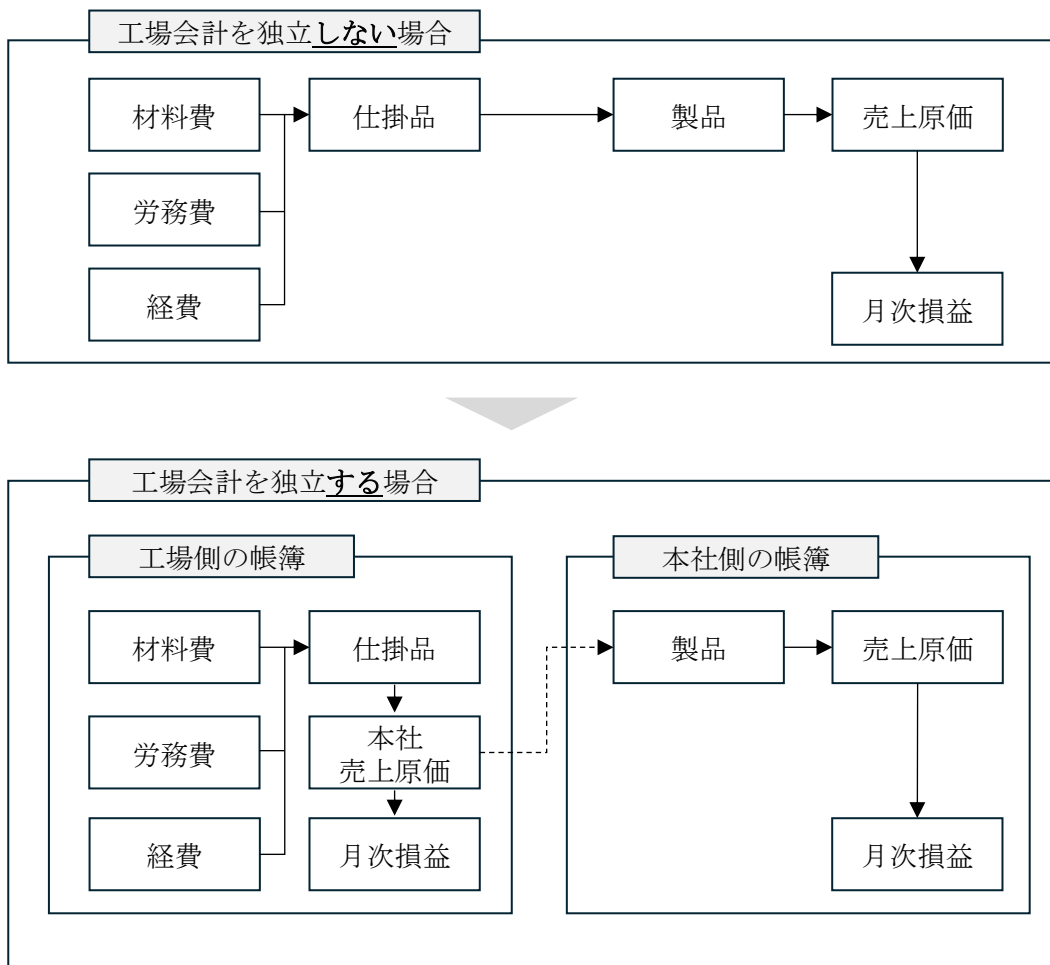
- (一) 実際原価計算制度における原価差異の処理は、次の方法による。
- 1 原価差異は、材料受入価格差異を除き、原則として当年度の売上原価に賦課する。
 - 2 材料受入価格差異は、当年度の材料の払出高と期末在 high に配賦する。この場合、材料の期末在 high については、材料の適当な種類群別に配賦する。
 - 3 予定価格等が不適当なため、比較的多額の原価差異が生ずる場合、直接材料費、直接労務費、直接経費および製造間接費に関する原価差異の処理は、次の方法による。
 - (1) 個別原価計算の場合
次の方法のいずれかによる。
 - イ 当年度の売上原価と期末におけるたな卸資産に指図書別に配賦する。
 - ロ 当年度の売上原価と期末におけるたな卸資産に科目別に配賦する。
 - (2) 総合原価計算の場合
当年度の売上原価と期末におけるたな卸資産に科目別に配賦する。
- (二) 標準原価計算制度における原価差異の処理は、次の方法による。
- 1 数量差異、作業時間差異、能率差異等であって異常な状態に基づくと認められるものは、これを非原価項目として処理する。
 - 2 前記 1 の場合を除き、原価差異はすべて実際原価計算制度における処理の方法に準じて処理する。

[要約図]



問題2 本社工場会計

1. 勘定連絡図の整理（原価プラス利益で取引する場合）



2. 工場側における仕訳

(1) 本社より掛仕入（本社への**債務**の発生） * 問1①の解答

(借方)	材	料	8,200,000	(貸方)	本	社	8,200,000
------	---	---	-----------	------	---	---	-----------

* 工場側における本社への債権債務は「本社」勘定で処理する

(2) 本社にて賃金・給料の立替払い（本社への**債務**の発生） * 問1②の解答

(借方)	賃	金	・	給	料	5,100,000	(貸方)	本	社	5,100,000
------	---	---	---	---	---	-----------	------	---	---	-----------

(3) 本社へ販売（本社への**債権**の発生） * 問1③の解答

(借方)	本	社	31,200,000	(貸方)	本	社	売	上	31,200,000
------	---	---	------------	------	---	---	---	---	------------

* 本社売上 5,200 単位×6,000 円/単位=31,200,000 円

(4) 売上原価の算定

① 仕掛品勘定から本社売上原価への振り替え

(借方)	本	社	売	上	原	価	21,800,000	(貸方)	仕	掛	品	21,800,000
------	---	---	---	---	---	---	------------	------	---	---	---	------------

② 本社売上原価勘定から月次損益勘定へ振替 * 問1④の解答

(借方)	月	次	損	益	21,800,000	(貸方)	本	社	売	上	原	価	21,800,000
------	---	---	---	---	------------	------	---	---	---	---	---	---	------------

(5) 月次損益の算定

① 製造費用以外の諸費用

(借方)	月	次	損	益	5,680,000	(貸方)	諸	費	用	5,680,000
------	---	---	---	---	-----------	------	---	---	---	-----------

② 月次損益の算定 ***問2の解答**

(借方)	月	次	損	益	3,720,000	(貸方)	本	社	3,720,000
------	---	---	---	---	-----------	------	---	---	-----------

*以下の月次損益勘定を参照

月次損益

<p>月次費用</p> <p>本社売上原価 21,800,000</p> <p>諸費用 5,680,000</p>		<p>月次収益</p> <p>本社売上 31,200,000</p>	
<p>月次利益</p> <p>本社 3,720,000</p>			

3. 本社側における工場勘定残高 ***問3の解答**

工場勘定

<p>前月繰越</p> <p>前月繰越 38,700,000</p>		<p>当月発生</p> <p>③製品 31,200,000</p>	
<p>当月発生</p> <p>①買掛金 8,200,000</p> <p>②賃金・給料 5,100,000</p> <p>③月次損益 3,720,000</p>		<p>次月繰越</p> <p>次月繰越 24,520,000</p>	

問4、問5は解答参照